

## センター試験を知ろう

後期が始まり1ヶ月が過ぎようとしています。高校3年生にとっては本格的な受験シーズンの到来です。中学生のみなさんにとっては、自分が受験するセンター試験まで時間があるので、まだ実感がわいてこないのが現実かもしれません。今号では、その受験生の多くが受験するセンター試験について紹介します。今号では、その受験生の多くが受験するセンター試験について紹介します。

国公立大の入試は、基本的には大学入試センター試験と各大学が実施する個別学力調査(2次試験)を組み合わせた成績で合否が決定されます。センター試験は「入試の第一関門」なのです。高校3年生の後ろ姿を見ながら、センター試験や入試の基本事項について今からおさえておきましょう。

### 1. センター試験とは

センター試験は、毎年1月の中旬に2日間にわたって行われます。マークセンス方式で、基礎的な学力が問われるテストです。各大学は合否判定に利用する教科・科目と配点を事前に告知するので、受験生は自分の志望校に必要な科目を受験します。国公立大の入試は、センター試験と2次試験(個別試験)の総合点で合否が判定されます。センター試験では、ほとんどの国立大が5教科7科目以上を課しています。逆に私立大のセンター利用方式の場合は、2~3教科の受験で出願可能なケースが多く見られます。ただし、国公立大の出願先はセンター試験が終わって自己採点してから決められるのに対して、私立大はセンター試験前に募集の締め切りをする場合がありますので、早めに募集要項などで出願時期を調べておく必要があります。センター試験後には自己採点を行い、その結果から、出願する大学を決定します。

### 2. 受験者数について

2013年実施のセンター試験には、57万人以上が出願しています。全国の高校生がライバルになる、とても大規模な試験です。

### 3. 日程と時間割について

センター試験は毎年1月の中旬に2日間にわたって行われます。2014年実施のセンター試験は、下の表が示す日程・時間割で、出題教科・科目は5教科29科目となっています。志望校の入試に合わせて、必要な科目を受験することになります。現在、ほとんどの国立大で5教科7科目が課されているので、苦手教科をつくらないことが大切です。

地理歴史・公民を合わせて1教科と数えています。

2013年 1月18日 (土)	地理歴史	2科目選択 9:30~11:40 (注)
	公民	1科目選択 10:40~11:40
	国語	13:00~14:20
2013年 1月19日 (日)	外国語	【筆記】 15:10~16:30 【リスニング】 英語のみ 17:10~18:10
	理科	2科目選択 9:30~11:40 (注) 1科目選択 10:40~11:40
	数学	13:00~14:00
	数学	14:50~15:50

教科	試験時間	配点
国語	80分	200点
地理歴史	60分	100点
公民	60分	100点
数学	60分	100点
理科	60分	100点
外国語	【筆記】80分	200点
	【リスニング】 英語のみ 30分	50点

注) 地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とする。

<平成25年度大学入学者選抜大学入試センター試験実施要項より>

### 4. 試験会場について

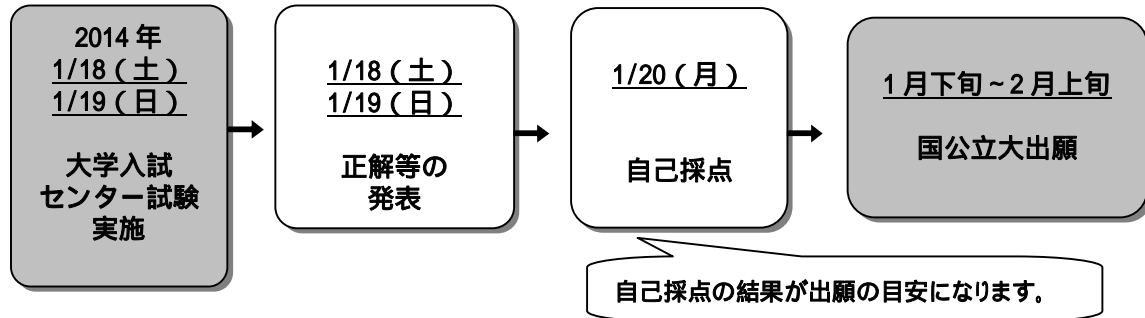
会場は各人指定されるので、慣れない場所で他校の生徒に交じって受験する場合があります。普段より緊張してしまうかもしれません。それに備え今のうちから、校内実施の模擬試験などでも「常に本番のつもりで受験する」トレーニングをしておきましょう。

### 5. 試験内容について

出題対象は高校3年間の学習事項で、1・2年生の内容が多くの割合を占めています。すべて教科書の内容から出題されるので、毎日の授業がそのまま直結する試験ということが出来ます。

## 6. センター試験の流れ

センター試験後の一連の流れを紹介しています。



Benesse マナビジョンHPより

受験生にとってはとても大切な試験です。高校3年生になって慌てて準備することにならないように、早い時期からセンター試験を意識した学習を心がけましょう。

## 学力推移調査について

10月23日(水)に中学生は2回目の「学力推移調査」を行いました。結果が返ってくるのはもう少し先ですが、試験が返ってきた後に活用・反省ができるように「学力推移調査」について紹介します。

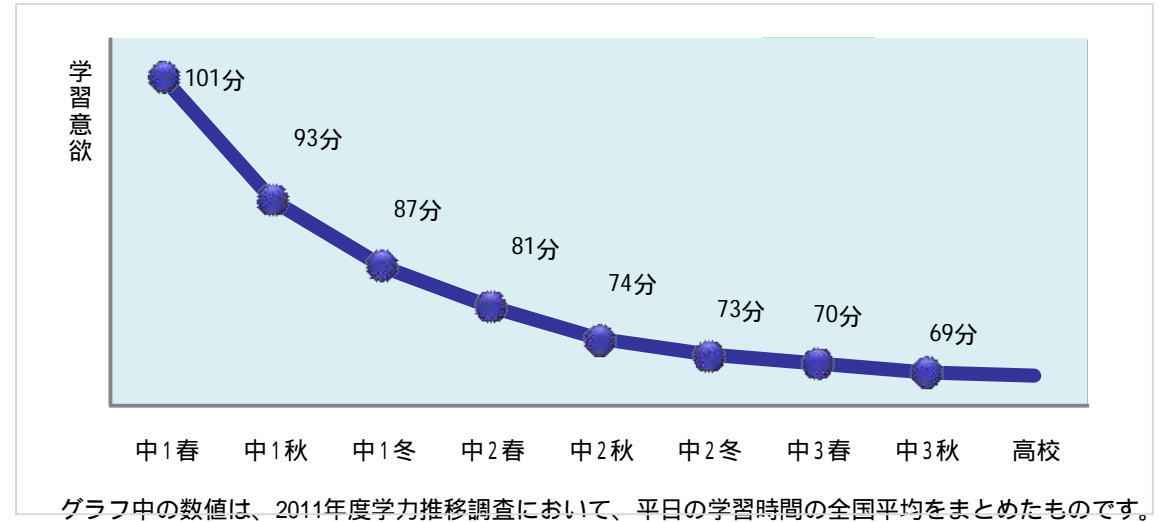
### \* 学力推移調査とは

中高一貫校の中学生向けの一般テストです。基礎学力の定着度とその裏づけとなる生活習慣・学習習慣・意識などをともに測定することで、今後の学習において、生徒の自主的な目標設定や学習行動を促すための教材です。

### \* 学力推移調査をふまえてのそれぞれの学年へのアドバイス

まずは、次のグラフを見て下さい。このグラフは「中高一貫校生の中学3年間の学習意欲の推移」を示したものです。入学当初は多かった学習時間が学年が上がるにつれて、どんどん減少しています。高校受験がない中高一貫校では、「中だるみ」の状態が見られます。受験がないということは、逆に言えば、毎日の学習により集中し、早いうちから大学受験などの準備にとりかかることもできます。以下には各学年への学習への取り組み方のアドバイスを掲載しています。自分の学年以外のものを読んでみて参考にしてください。

<中高一貫校生の中学3年間の学習意欲グラフ>



### 【1年生】

中1後半になり、すっかり学校生活にも慣れた頃だと思います。入学したころは高かった学習意欲が学校生活に慣れたこの時期に低下してくる傾向は多くの生徒に見られます。このため、中1の秋には生活・学習習慣について見直しが必要です。「小学7年生」ではなく、「中学1年生」になれているか、振り返りをしてみましょう。

### 【2年生】

中2後半は、部活や学校行事などで中心的な役割を担う生徒も多く、学校生活が充実している時期であるといえます。しかし一方で、その忙しさから学習が疎かになりがちな時期でもあります。学習以外のさまざまなことに興味や関心を持って積極的に取り組むことは、今後の進路を考える上でも生徒にとって貴重な体験です。ただ、過度の「中だるみ」になってしまわないよう、生活・学習習慣について注意しましょう。

### 【3年生】

中3後半は、高校生になるための大切な準備期間です。しかし、中高一貫校の場合、グラフが示すように学習意欲が高まりにくい生徒が多く見られる時期でもあります。高校受験がないからといってのんびり過ごすのではなく、今のうちにこれまでの学習内容をしっかりと復習し、苦手を克服しておくことが大切です。この時期の学習への取り組み方が、高校進学後、大きな差となって出てきます。また、学習時間や学習方法などについても、徐々に「高校式に」切り替えていく時期です。

Benesse HPより

## センター試験を知ろう

後期が始まり1ヶ月が過ぎようとしています。高校3年生にとっては本格的な受験シーズンの到来です。今号では、その受験生の多くが受験するセンター試験について紹介します。

「大学入試センター試験」(センター試験)として毎年1月中旬に2日間をかけて行なわれています。すべての試験がマーク方式で行なわれ、受験生は志望大学で指定されている科目を選択して受験します。すべての国公立大の受験者の一次試験であるとともに、多くの私立大でも選抜方式の一つとして利用されています。そのため、今では現役高3生の約4割(例年50万人以上)が受験するほど大規模になっています。

そして今年度のセンター試験は、来年2014年の1月18日(土)・19日(日)に行われます。みなさんもいつかは受験生になります。高校3年生の後ろ姿を見ながら、今からセンター試験についての基本事項をおさえておきましょう。

### 1. センター試験とは

センター試験は、毎年1月の中旬に2日間にわたって行われます。マークセンス方式で、基礎的な学力が問われるテストです。各大学は合否判定に利用する教科・科目と配点を事前に告知するので、受験生は自分の志望校に必要な科目を受験します。国公立大の入試は、センター試験と2次試験(個別試験)の総合点で合否が判定されます。センター試験では、ほとんどの国立大が5教科7科目以上を課しています。逆に私立大のセンター利用方式の場合は、2~3教科の受験で出願可能なケースが多く見られます。ただし、国公立大の出願先はセンター試験が終わって自己採点してから決められるのに対して、私立大はセンター試験前に募集の締め切りをする場合もありますので、早めに募集要項などで出願時期を調べておく必要があります。センター試験後には自己採点を行い、その結果から、出願する大学を決定します。

### 2. 受験者数について

2013年実施のセンター試験には、57万人以上が出願しています。全国の高校生がライバルになる、とても大規模な試験です。

### 3. 日程と時間割について

2013年実施のセンター試験は1月19日(土)・20日(日)で、次のような日程・時間割となりました。出題教科・科目は5教科29科目で、実際に受験できるのは、数学2科目と地理歴史・公民2科目、理科2科目を含む、最大5教科8科目です。志望校の入試に合わせて受験します。現在、ほとんどの国立大で5教科7科目が課されており、教科のバランスが重視されています。また、外国語で英語を選択した場合、筆記試験に加えリスニングテストが必須となっています。地理歴史・公民を合わせて1教科と数えています。

2014年 1月18日 (土)	地理歴史	2科目選択 9:30~11:40
	公民	(注) 1科目選択 10:40~11:40
	国語	13:00~14:20
	外国語	【筆記】 15:10~16:30 【リスニング】 英語のみ 17:10~18:10
2014年 1月19日 (日)	理科	2科目選択 9:30~11:40 (注) 1科目選択 10:40~11:40
	数学	13:00~14:00
	数学	14:50~15:50

教科	試験時間	配点
国語	80分	200点
地理歴史	60分	100点
公民	60分	100点
数学	60分	100点
理科	60分	100点
外国語	【筆記】80分	200点
	【リスニング】 英語のみ 30分	50点

注) 地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に第1解答科目及び第2解答科目に区分し各60分間で解答を行うが、第1解答科目及び第2解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、試験時間は130分とする。

<平成25年度大学入学者選抜大学入試センター試験実施要項より

>

### 4. 出題形式・時間・配点について

センター試験はすべてマークセンス方式です。高校3年間の学習事項が出題の対象となり、すべて教科書の内容から出題されます。各教科の試験時間・配点は上表の通りです。

受験生にとってはとても大切な試験です。高校3年生になって慌てて準備することにならないように、早い時期からセンター試験を意識した学習を心がけましょう。

どの学年もいずれは受験生になります。大学入試には耳慣れない用語や疑問も多いものです。裏面では入試に関する疑問をQ&A形式で紹介しますので、ぜひ確認してみましょう。



# 学習習慣を振り返ってみよう

後期開始からあっという間に1か月が経ちました。11月には体育祭を控え、忙しく感じる人も多いのではないのでしょうか。特に1年生や2年生の秋は成績が大きく変動する時期です。今回は、これから学習していく上で気をつけてほしいポイントについてまとめています。これらを参考に、もう一度自分の学習習慣について振り返り、今後の学習計画を立てていきましょう。

以下資料 Benesse マナビジョンHPより

**(Q.1)**  
もし事故や病気などでセンター試験が受験できなくなったら？

**(A.1)**  
事故や病気などのアクシデントが起きた場合は、受験生本人または代理人が、速やかに「受験票」に記載されている「問い合わせ大学」に行き、申請すれば追試験を受けることができます。申請の受付時間、詳しい方法等については、受験票・写真票等と一緒に送付されている「受験上の注意」に明記されています。なお、2014年度大学入試センター試験の追試験は1月25日(土)・26日(日)に実施予定。

**(Q.2)**  
センター試験の得点調整とは？

**(A.2)**  
センター試験終了後、大学入試センターでは、各教科で選択科目ごとに平均点を算出します。その平均点に原則として20点以上の差が生じ、それが試験問題の難易差に基づくものと認められた場合には、平均点が低い科目を受験した受験生が不利にならないよう、得点差を調整します。なお、2014年度大学入試センター試験の得点調整実施の有無の発表は1月24日(金)の予定。

**(Q.3)**  
国公立大の出願はいつ行うのか？

**(A.3)**  
国公立大の出願は1月27日(月)～2月5日(水)の間に行います(国際教養大を除く)。出願する可能性のある大学の願書は、当然それまでに取り寄せておかなければならないので、早めの準備が必要です。  
また、出願校決定には、自己採点結果が唯一の手がかりとなります。確実な出願校決定のためには正確に自己採点することが重要です。

**(Q.4)**  
「志願倍率」、「実質倍率」の違いとは？

**(A.4)**  
ひと口に倍率といっても「志願倍率」と「実質倍率」の2種類があります。「志願倍率」とは、「志願者数÷募集人員」のこと。志願者とは実際に大学に出願した人を指すので、「志願倍率」ではその大学の人気度がわかります。一方「実質倍率」は、「受験者数÷合格者数」のことで、試験での実際の競争率がわかります。

出願はしたものの、試験当日までに第1志望校の合格が決まった受験生などは受験しない場合があり、「志願者数と受験者数が違う」といったことが起こります。また、入学辞退者を見込む大学は、募集人員よりも多めに合格者を発表するため「募集人員と合格者数が違う」ということも起こります。このように「志願倍率」と「実質倍率」では数値も意味も異なるので、単に「倍率」といった場合には、どちらの倍率を指すのか注意が必要です。

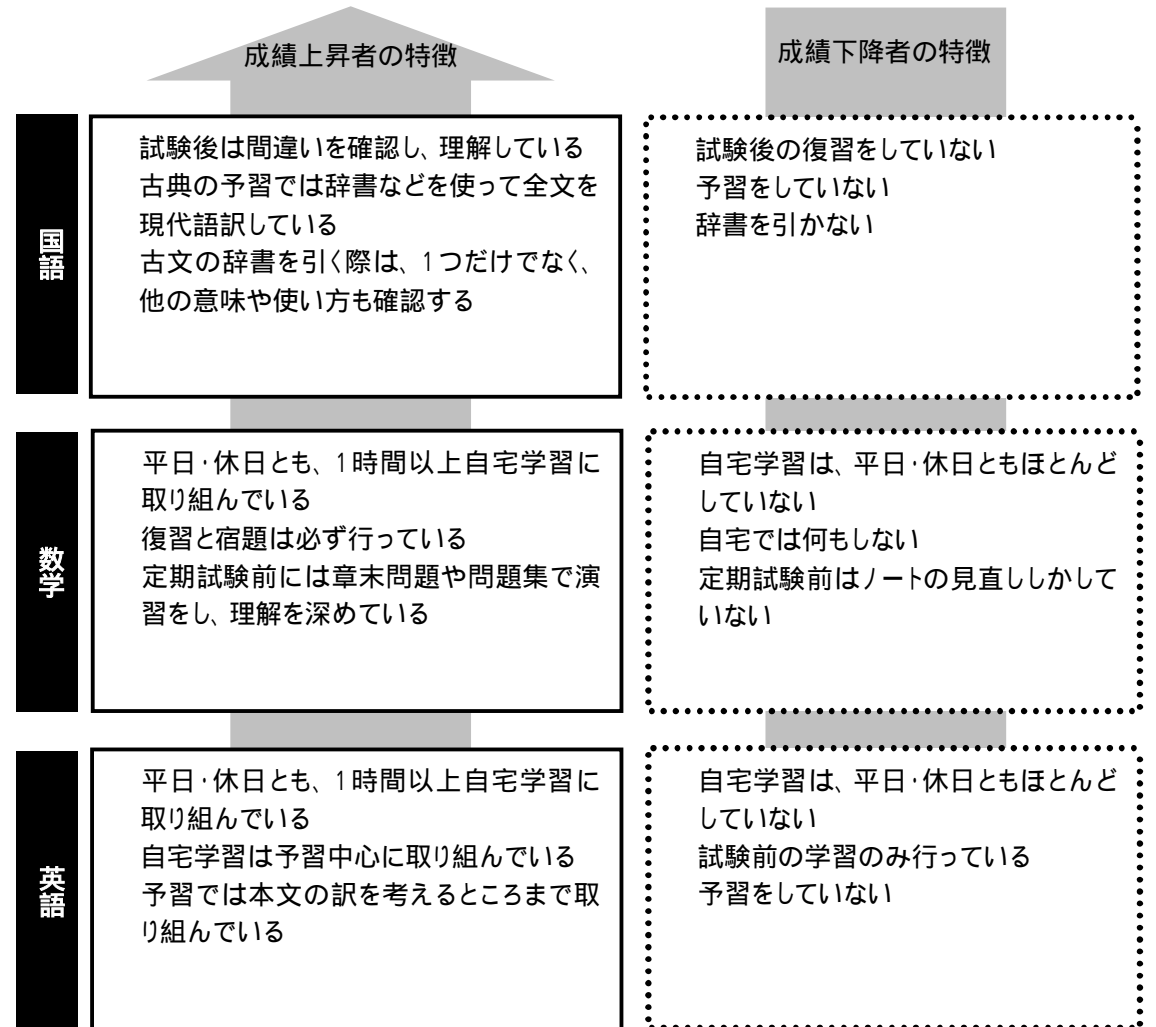
**(Q.5)**  
大学は何校まで出願できるか？

**(A.5)**  
国公立大一般入試の場合は、原則、前期・中期・後期の各日程から1つずつ、最大3つの大学・学部へ出願できる。一方私立大などは、試験日程が重ならなければ出願数に制限はない。第1志望校を中心に、うまくスケジュールを立てて出願校を考えよう。

**(Q.6)**  
「二段階選抜」とは？

**(A.6)**  
センター試験の成績等により第一段階選抜を行い、その合格者に対して個別学力検査を行う制度。一部の大学で行われています。志望校が二段階選抜を行うかどうか確認しておきましょう。

## 学習習慣を振り返ってみよう



Benesse マナビジョンHPより